

(様式2)新規評価シート

建設部 道路管理課

事業名		県単交通安全施設等整備事業		路河川名等	(一)荻窪丸子線		
事業毎の通番		3	市町村名	上田市	箇所名(ふりがな)	下和子(しもわご)	
事業概要	事業目的	本路線は上田市と松本市を結ぶ幹線道路である。 当該箇所は、自動車交通量(特に大型車)が多く、丸子中央小学校の通学路に指定されているが、大型車の混入に伴い通学時の児童の安全が脅かされているため、歩道を整備し安全な歩行空間を確保する。					
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け	第5編 施策の総合的展開 第4章 4-2 県民生活の安全確保 第5章 5-2 快適で暮らしやすいまちづくり		事業実施の根拠法令等	社会資本整備重点計画法 交通安全施設等整備事業に関する法律		
	関連する事業、計画等	H24通学路緊急合同点検					
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	丸子中央小学校 通学者他 観光客 現況自動車交通量:6,913台/日、現況自転車歩行者交通量:34台・人/12h					
	着手年度	平成27年度	事業期間	4年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)	
	完成年度(見込み)	平成30年度	費用対効果	—	国庫	—	県債
	全体事業内容(主な工種)	歩道設置工(片側) L=40m W=2.0m			30,000	—	30,000
	年度事業内容(主な工種)	測量・設計 1式			1,000	—	1,000
	事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	利用者の安全確保、特に通学児童の交通事故の減少が期待される				
		間接的効果(定量的・定性的)	通行車両の交通事故抑制				
評価の視点	必要性	〇現況自動車交通量 : 6,913台/日	〇現況自転車歩行者交通量 : 34台・人/12h	評価	B		
		〇関連計画、重点施策との整合 : 1つ整合(通学路緊急合同点検(H24))		〇緊急輸送道路の路線指定 : なし		評価	A
	重要性	〇事業期間 : 4年間(H27~H30)	評価	B			
		〇近年の交通事故件数 : なし	〇通学路対策 : H24緊急合同点検を踏まえた対策箇所(上田市立丸子中央小学校)	〇現況の歩道幅員 : 歩道なし	評価	B	
	緊急性	〇事業情報の共有 : 関係者を中心に周知	〇地域の取り組み : 協力的である。(地域住民や市町村から事業計画に対して要望あり)	〇地域の合意形成 : 事業目的について合意形成が図られている	〇住民との協働 : 住民参加により交通安全対策を検討している	評価	B
		〇事業情報の共有 : 関係者を中心に周知				〇地域の取り組み : 協力的である。(地域住民や市町村から事業計画に対して要望あり)	〇地域の合意形成 : 事業目的について合意形成が図られている
計画熟度	〇事業情報の共有 : 関係者を中心に周知	〇地域の取り組み : 協力的である。(地域住民や市町村から事業計画に対して要望あり)	〇地域の合意形成 : 事業目的について合意形成が図られている	〇住民との協働 : 住民参加により交通安全対策を検討している	評価	B	
	〇事業情報の共有 : 関係者を中心に周知				〇地域の取り組み : 協力的である。(地域住民や市町村から事業計画に対して要望あり)	〇地域の合意形成 : 事業目的について合意形成が図られている	〇住民との協働 : 住民参加により交通安全対策を検討している
部意見	交通量の多い路線であるが歩道がなく、この事業で横断歩道部のたまり場を設置し、横断歩道を渡る通学児童の危険を軽減できるため、事業実施の効果が高い。	行政改革課意見	重要性が認められる。	評価結果	○	総合評価	B

**位置図**

**標準横断面図**

**状況写真**

**平面図**

**事業概要説明図表**

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	当該箇所は、丸子中央小学校の通学路であり、歩道がなく危険な状況。H24通学路緊急合同点検の要対策箇所になっている。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	地元の地区からも上田市市を通じて歩道設置の要望が出されている。
③事業説明等の経緯	特になし
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	長野県地域防災計画(第1次緊急輸送路)
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	歩道整備により生活環境に配慮した地域づくりに寄与できる。
⑥地域活性化への影響と配慮	歩行者の安全確保が図られ、安全に配慮した地域づくりに貢献でき、地域の活性化につながる。
⑦その他	特になし

事業代表地点の緯度経度

北緯:N	36° 18' 51"
東経:E	138° 14' 29"